

特別支援教育通信

2021.1.7

Vol.7

特別支援教育 Co.

「困り感」ってなんだろう



「困り感」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？最近、書店にも「困り感」という題名がついた本が並んでいたり、テレビ番組の中で紹介されたりと少しずつ耳にする言葉になってきています。困り感とは、その人自身が困っていると感じることです。例えば、見通しをもつことができず、不安になり、泣き出してしまいうちの子がいる時、その子の困り感は「見通しをもつことが難しいこと」ということになります。つまり、見通しをもつことができる支援を周りの人ができれば、その子自身の困り感はなくなり、泣かなくても大丈夫になります。

このように、子ども自身が何に困っているか、「困り感」を考え、言葉をかけたり、支援をしたりすることが大切になってきます。

☆おすすめTV番組！！☆

ONHK for School「u & I」



この番組は、子どもたちの困り感に着目し、子ども自身が何に困っていて、どのような工夫があれば日々の生活が過ごしやすくなるかについて、とても分かりやすく紹介されています！また、1つの動画が10分と短く、集中して見られます。ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます♪

配信リスト



【参照HP】 <https://www.nhk.or.jp/tokushi/ui/> (2020年8月閲覧)